

2025年度 第3四半期決算説明会

2026年2月26日

【証券コード 4401】



2025年度 決算説明

第3四半期

2025年4月1日～2025年12月31日

代表取締役社長兼社長執行役員
城詰 秀尊

- 1. 2025年度 第3四半期連結業績 … P 3
- 2. 2025年度 連結業績予想の修正 … P12
- 3. ご参考 … P22

A decorative border composed of various red and blue geometric shapes, including squares, triangles, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the slide.

1. 2025年度 第3 四半期連結業績

2025年度 第3四半期連結業績の概要

2025年度 第3四半期連結業績

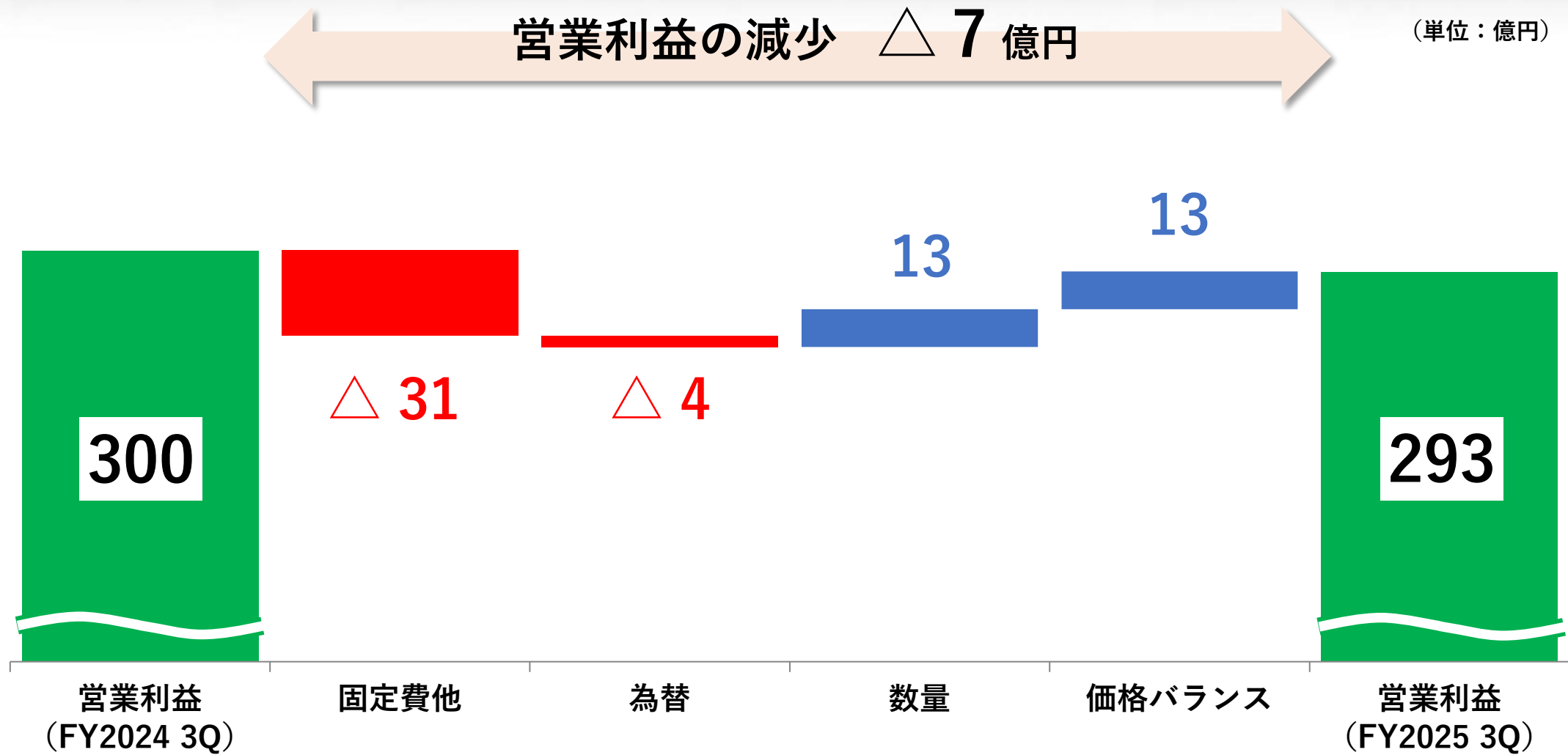
(単位：億円)

	FY2024 3 Q	FY2025 3 Q	増減	増減率 (%)
売上高	2,963	2,967	4	0.1
営業利益	300	293	△ 7	△ 2.6
経常利益	296	303	7	2.4
四半期純利益	192	198	6	3.4
1株利益	188.4円	196.9円	8.4円	

注) 金額は億円未満を切捨て、1株利益は小数点第2位を四捨五入して表示

連結営業利益の増減分析

2025年度 第3四半期連結業績



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2025年度 第3四半期連結業績（セグメント別）

2025年度 第3四半期連結業績

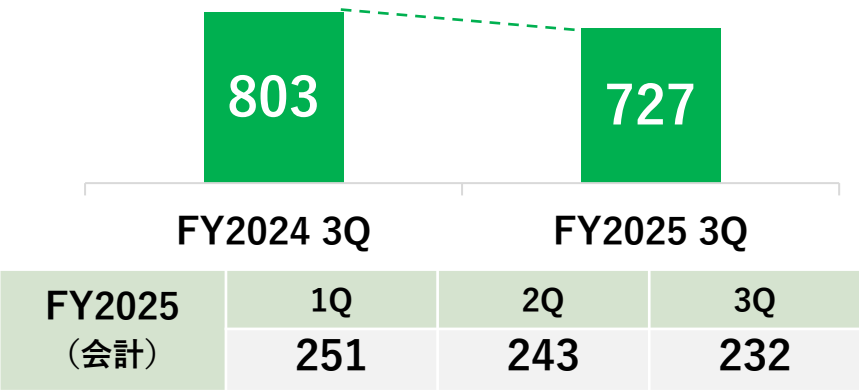
(単位：億円)	FY2024 3Q	FY2025 3Q	増減	増減率（％）
売上高	2,963	2,967	4	0.1
化学品	1,674	1,589	△ 85	△ 5.1
樹脂添加剤	803	727	△ 76	△ 9.5
半導体材料	265	255	△ 9	△ 3.7
環境材料	605	606	0	0.1
食品	630	627	△ 3	△ 0.5
ライフサイエンス	613	703	89	14.6
その他	44	47	2	6.5
営業利益	300	293	△ 7	△ 2.6
化学品	227	199	△ 27	△ 12.2
樹脂添加剤	84	71	△ 13	△ 16.1
半導体材料	74	55	△ 19	△ 26.2
環境材料	67	73	5	8.1
食品	37	35	△ 1	△ 4.7
ライフサイエンス	30	50	20	66.4
その他	5	7	1	29.8

注1) 金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

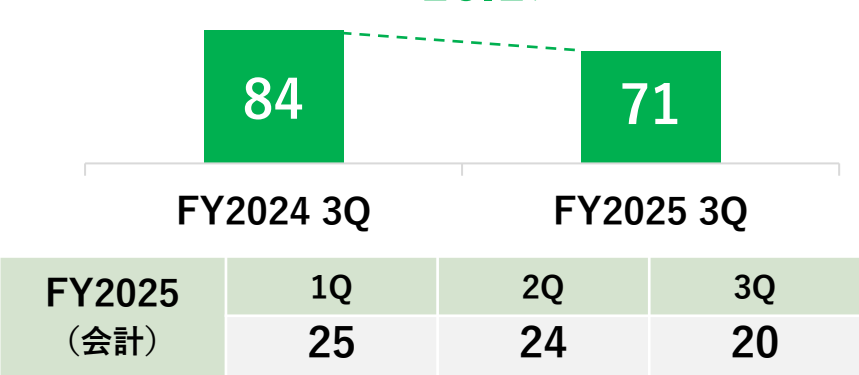
注2) 半導体材料および環境材料は、製品区分組み替え後の実績値を記載

化学品事業（樹脂添加剤）

◆ 売上高 △ 9.5% (単位：億円)



◆ 営業利益 △ 16.1% (単位：億円)



注) 金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

売上高の主な要因（対前年同期）

市況低迷

◆ 家電製品、E V

低 調 難燃剤

◆ プラスチック関連

低 調 酸化防止剤

◆ 建築・インフラ（電線、住宅内装材）

堅 調 塩ビ用安定剤

北米

産業機械向け 自動車向け
可塑剤・塩ビ用安定剤は、国内中心に価格改定が進捗

営業利益の主な要因（対前年同期）

数 量

△ 14 億円

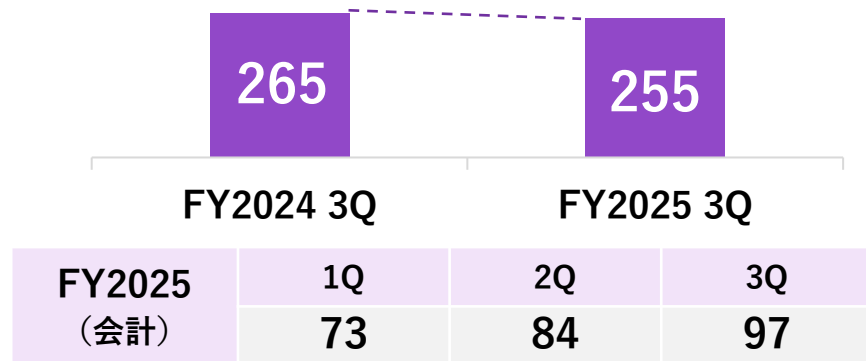
価格バランス

1 億円

◆ 売上高

（単位：億円）

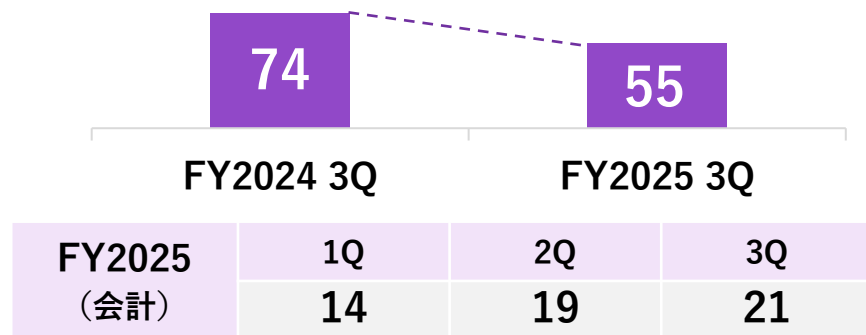
△ 3.7%



◆ 営業利益

（単位：億円）

△ 26.2%



売上高の主な要因（対前年同期）

◆ 先端DRAM

市場でメモリの世代交代が進展 ⇒ 新製品の量産で拡大基調

低調 高誘電材料

◆ 先端フォトレジスト

EUVによる配線微細化やPFASフリーの需要増に対応

好調 半導体リソグラフィ材料

◆ 先端ロジック

低調 ALD材料 ✓ 次世代向け評価が前進

営業利益の主な要因（対前年同期）

価格バランス
△ 19 億円

固定費他
△ 14 億円

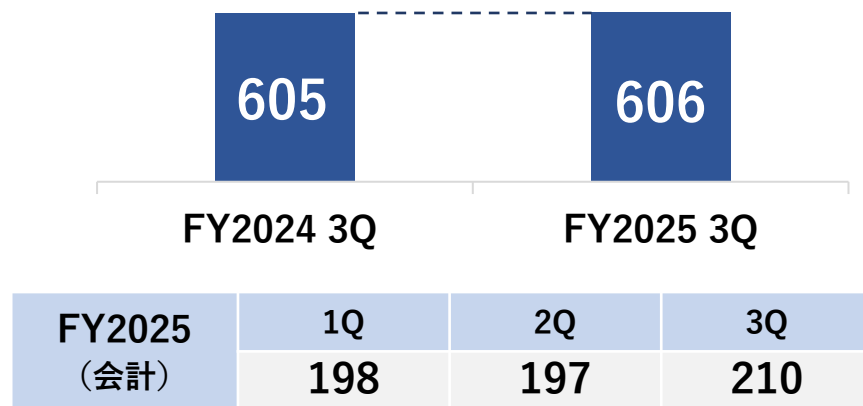
為替
△ 2 億円

数量
15 億円

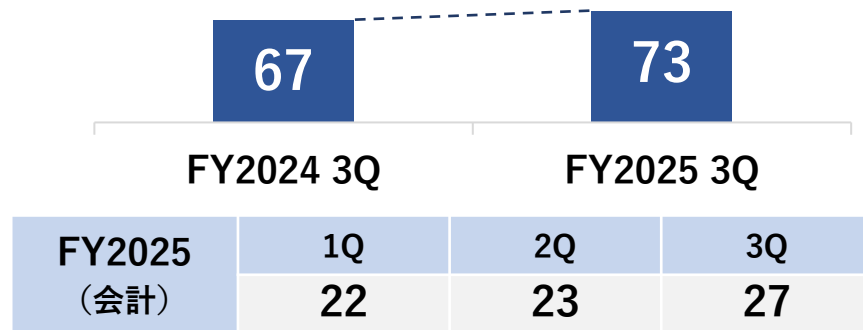
注1）金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

注2）FY2024 3Qは、製品区分組み替え後の実績値を記載

◆ 売上高 0.1% (単位：億円)



◆ 営業利益 8.1% (単位：億円)



売上高の主な要因（対前年同期）

◆ モビリティ

アジア・米国で省燃費ニーズ拡大

好 調 エンジンオイル用 潤滑油添加剤

◆ エレクトロニクス（電子部品、ディスプレイ）

好 調 特殊エポキシ樹脂 堅 調 光硬化樹脂

◆ 建築・インフラ（塗料）

低 調 反応性乳化剤

営業利益の主な要因（対前年同期）

数 量
2 億円

価格バランス
1 億円

その他
3 億円

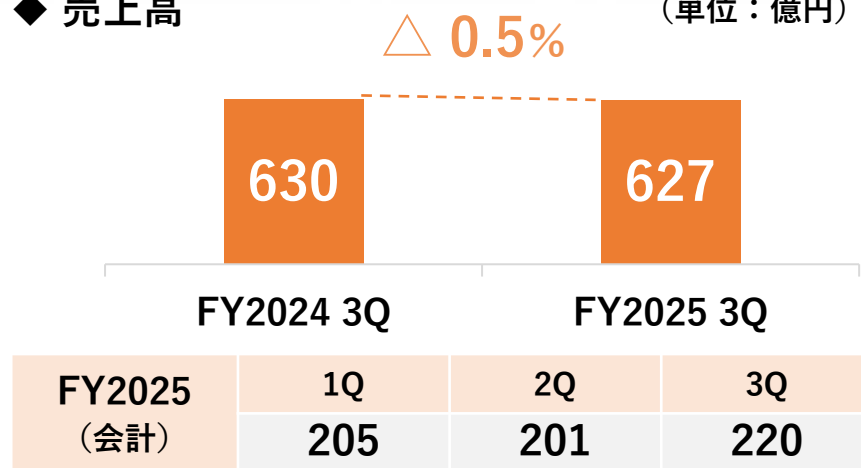
為 替
△ 2 億円

注 1）金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

注 2）FY2024 3Qは、製品区分組み替え後の実績値を記載

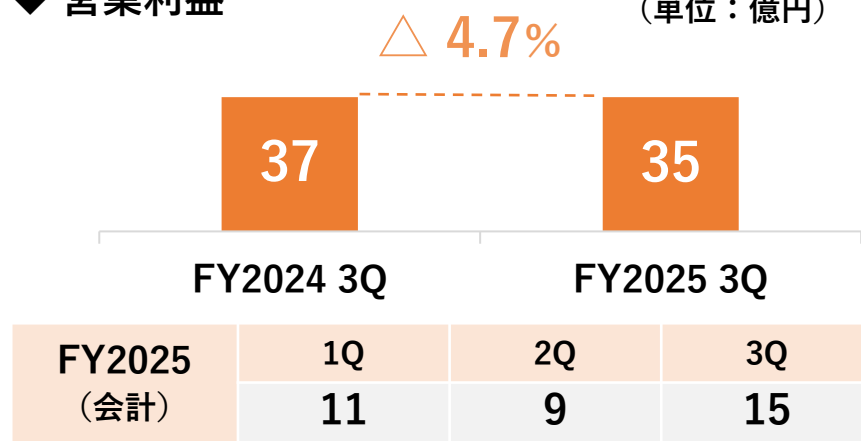
◆ 売上高

(単位：億円)



◆ 営業利益

(単位：億円)



売上高の主な要因（対前年同期）

◆ 製パン・製菓

消費者の低価格志向が継続

低調 ショートニング、マーガリン類

中国

◆ 製パンなど

～パン生地の経時的な変化を抑制（生産ロス削減）～

堅調 高機能練込素材

日本

◆ カフェ、製パンなど

堅調 プラントベースフード
「デリプランツ」シリーズ

営業利益の主な要因（対前年同期）

数量

△ 6 億円

価格バランス

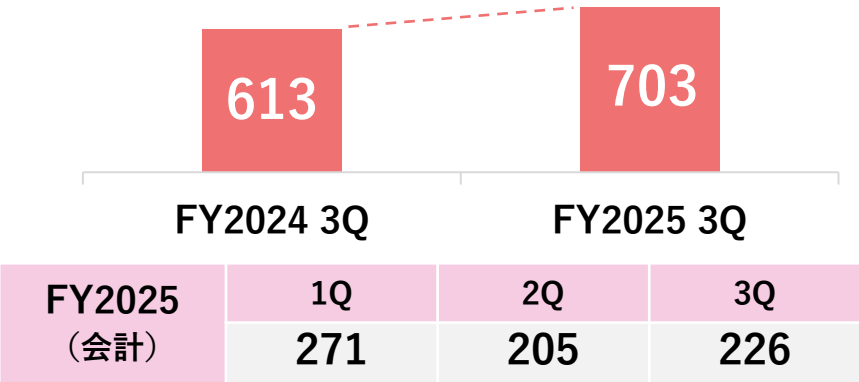
6 億円

注）金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

ライフサイエンス事業（日本農薬）

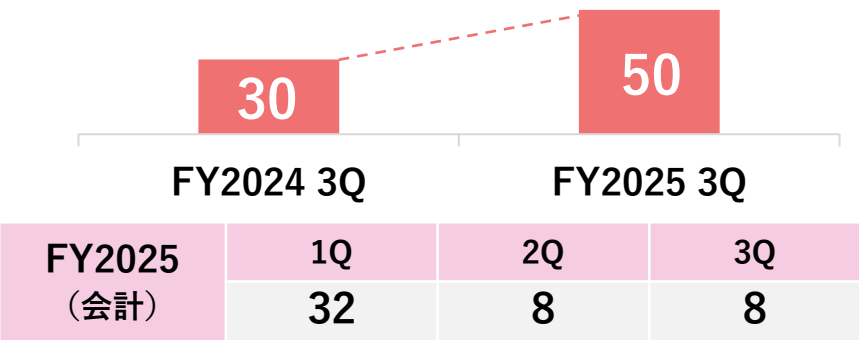
◆ 売上高

14.6% (単位：億円)



◆ 営業利益

66.4% (単位：億円)



売上高の主な要因（対前年同期）

◆ 農薬

米価高騰を背景に水稻栽培面積が増加

地域	状況	主な要因
日本	好調	除草剤、殺虫剤等（水稻）
欧州	好調	殺虫剤の原体 除草剤（果樹・ばれいしょ）
北米	好調	殺虫剤（野菜・果樹）

営業利益の主な要因（対前年同期）

価格バランス	数量	固定費他
23 億円	16 億円	△ 20 億円

注）金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

A decorative border composed of various red and blue geometric shapes, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the slide.

2. 2025年度 連結業績予想の修正

2025年度 連結業績予想の修正

2025年度 連結業績予想

(単位：億円)	FY2025		増減	FY2024	増減	増減率 (%)
	前回予想 (2025年5月)	今回修正予想 (2026年2月)		実績		
売上高	4,410	4,150	△ 260	4,071	78	1.9
営業利益	430	415	△ 15	410	4	1.2
経常利益	430	415	△ 15	393	21	5.5
当期純利益	264	255	△ 9	250	4	1.9
1株利益	259.5円	257.7円	△ 1.8円	245.6円	12.1円	

		FY2025/2H	FY2024	感応度 (年度)	
為替	円/\$	150.00	152.62	△ 0.9億円	営業利益に対する 1円・円高影響
	円/€	157.00	163.82	△ 0.4億円	
ナフサ	円/KL	66,000	73,659		

注1) 金額は億円未満を切り捨て、1株利益は小数点第2位を四捨五入して表示

注2) FY2025予想の1株利益は、2025年12月末時点の発行済株式数（自己株式を除く）を用いて算出、FY2025前回予想（2025年11月）の1株利益は262.3円

2025年度 連結業績予想の修正（セグメント別）

2025年度 連結業績予想

(単位：億円)	FY2025		増減	FY2024	増減	増減率 (%)
	前回予想	今回修正予想		実績		
売上高	4,410	4,150	△ 260	4,071	78	1.9
化学品	2,395	2,161	△ 234	2,184	△ 23	△ 1.1
樹脂添加剤	1,154	995	△ 159	1,054	△ 59	△ 5.6
半導体材料	373	356	△ 17	340	15	4.6
環境材料	868	810	△ 58	789	20	2.6
食品	853	830	△ 23	825	4	0.6
ライフサイエンス	1,093	1,093	—	999	93	9.4
その他	69	66	△ 3	62	3	6.1
営業利益	430	415	△ 15	410	4	1.2
化学品	300	280	△ 20	280	△ 0	△ 0.1
樹脂添加剤	112	100	△ 12	108	△ 8	△ 8.1
半導体材料	86	82	△ 4	90	△ 8	△ 9.5
環境材料	102	98	△ 4	80	17	21.4
食品	44	44	—	43	0	0.2
ライフサイエンス	81	81	—	77	3	4.2
その他	5	10	5	8	1	21.8

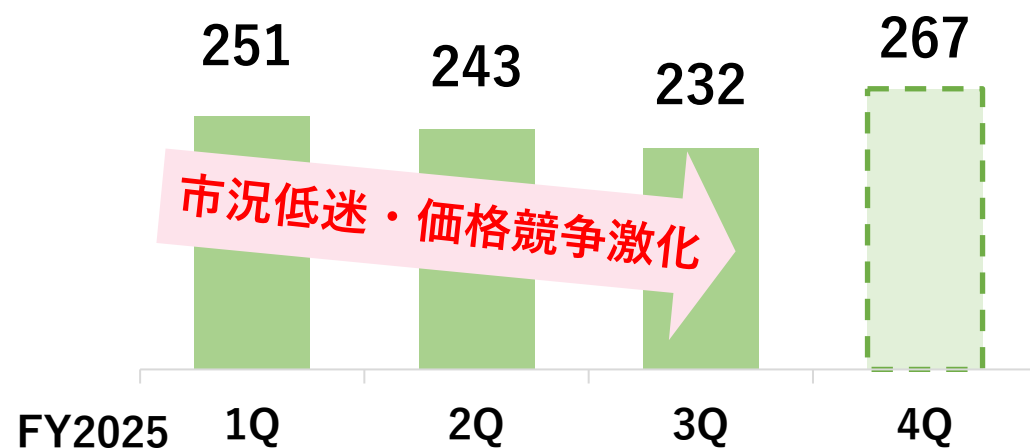
注1) 金額は億円未満を切り捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

注2) 半導体材料および環境材料は、製品区分組み替え後の実績値を記載

売上高 前期比：△ 59

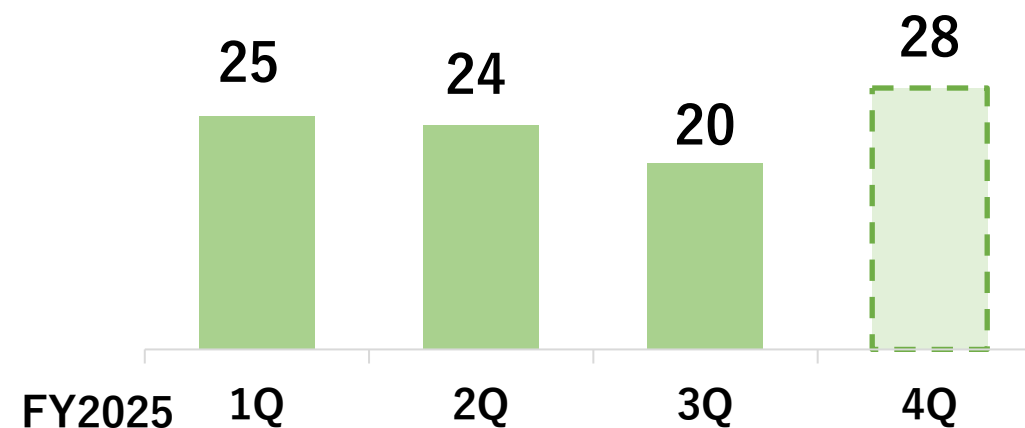
（単位：億円）

酸化防止剤や難燃剤の販売低調



営業利益 前期比：△ 8

（単位：億円）



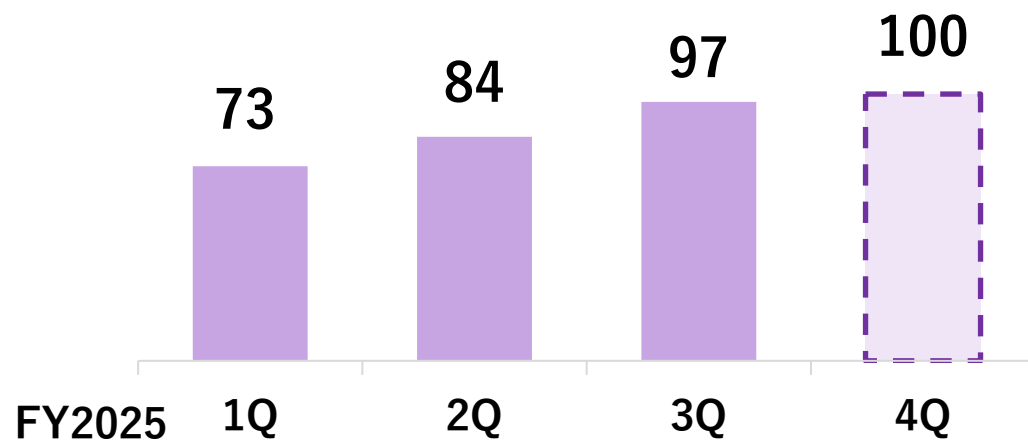
4 Q以降

- ・核剤（自動車部品）、高機能可塑剤（産業機械）など、高付加価値品の販売で巻き返しを図る
- ・新規透明化剤の本格的な拡大は来期にずれ込むものの、評価・実機試作を経て採用が進み、4 Q業績を下支えする見通し

注）金額は億円未満を切り捨てて表示

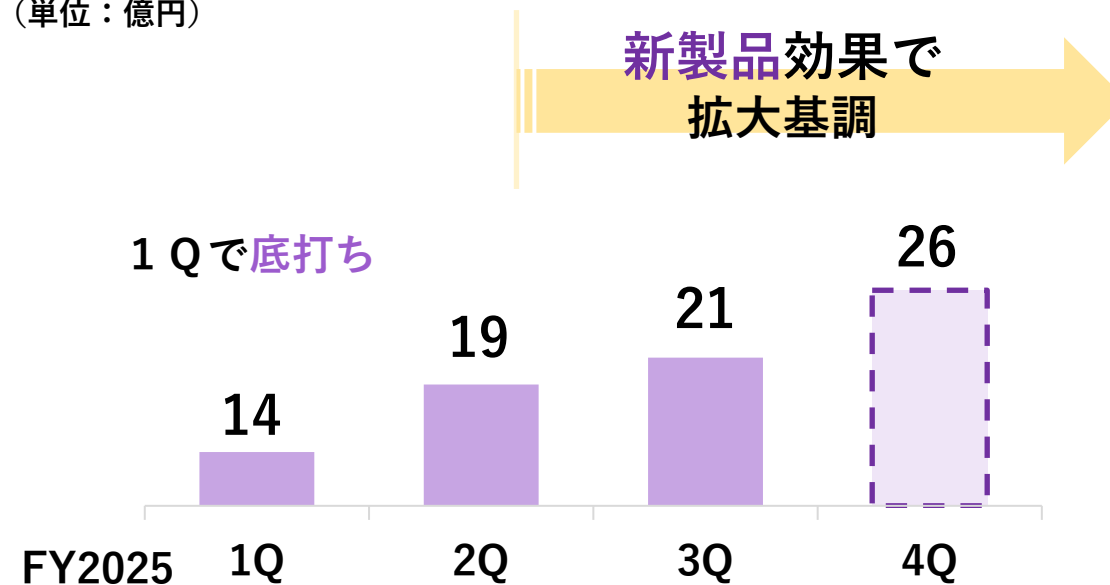
売上高 前期比：+ 15

（単位：億円）



営業利益 前期比：△ 8

（単位：億円）



4 Q以降

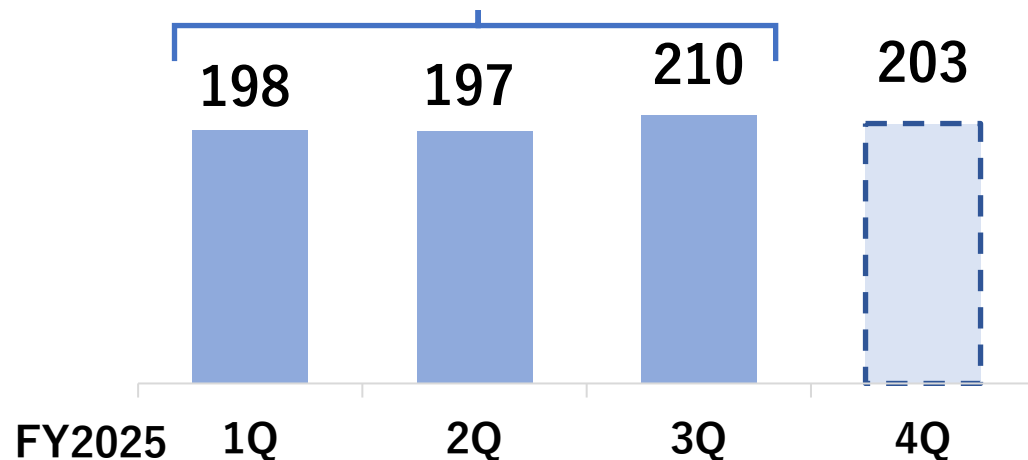
- ・メモリの世代交代に対応した新製品の出荷が想定より遅れたものの、市場の回復もあり、3Q以降は拡大基調で推移する見通し
- ・来期以降、ロジックの世代交代、次世代EUVリソグラフィに貢献する先端材料を拡大

注）金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高 前期比：+ 20

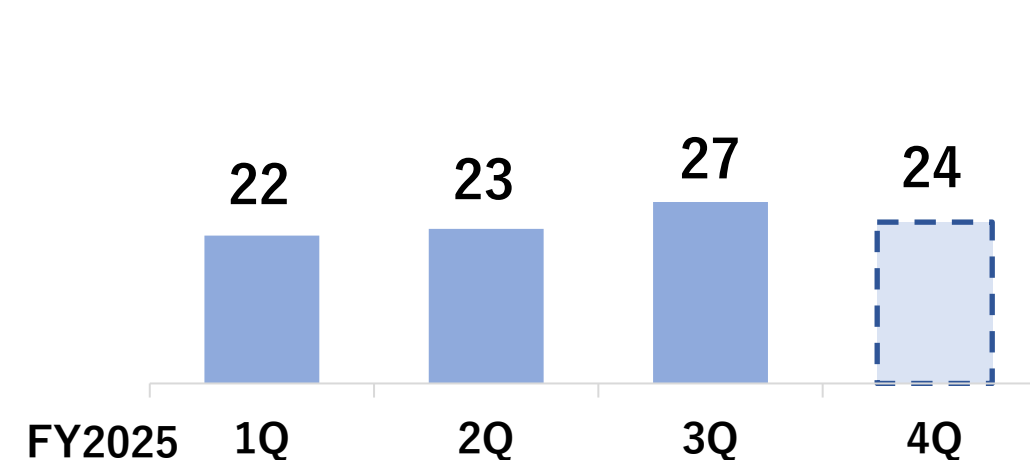
（単位：億円）

中国経済減速の影響を受けた
3 Q実績を踏まえ、通期予想を修正



営業利益 前期比：+ 17

（単位：億円）



4 Q以降

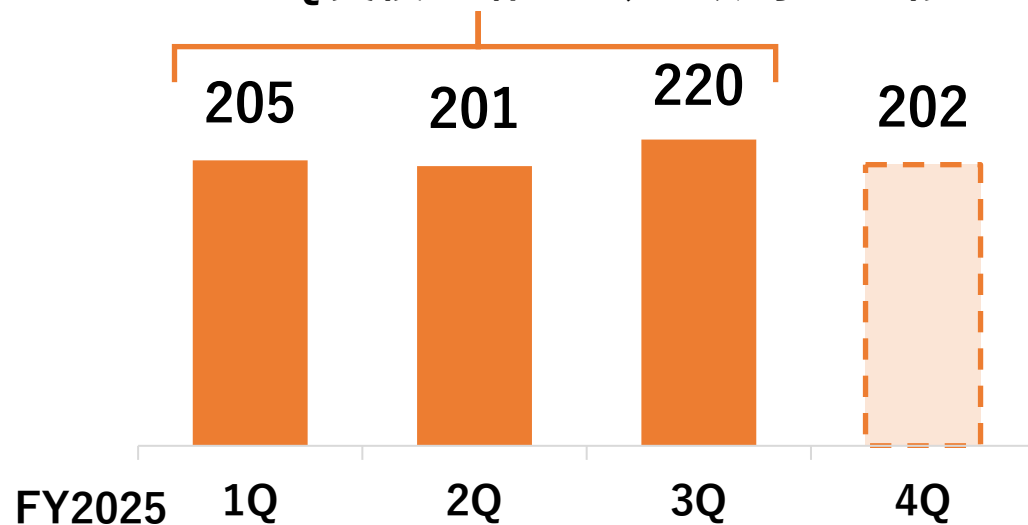
- ・ 4 Qは、春節や定期修繕の影響を織り込むものの、引き続き、潤滑油添加剤（エンジンオイル）や特殊エポキシ樹脂（電子部品）が業績をけん引

注）金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高 前期比：+4

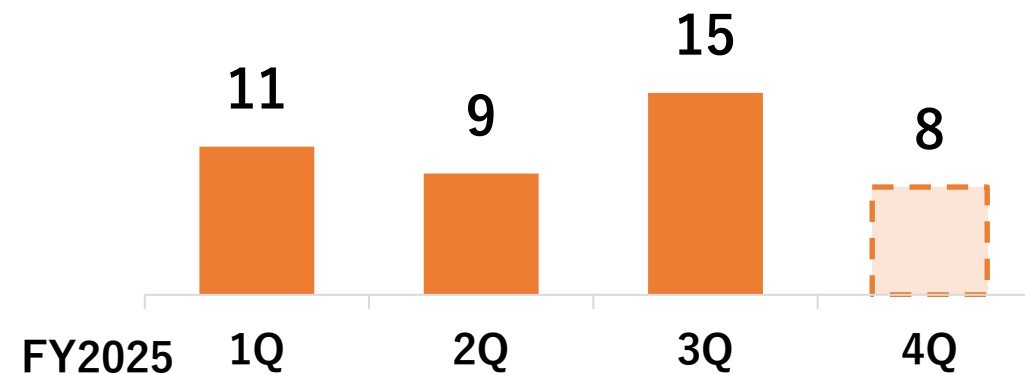
(単位：億円)

3Q実績を踏まえ、通期予想を修正



営業利益 前期比：+0

(単位：億円)



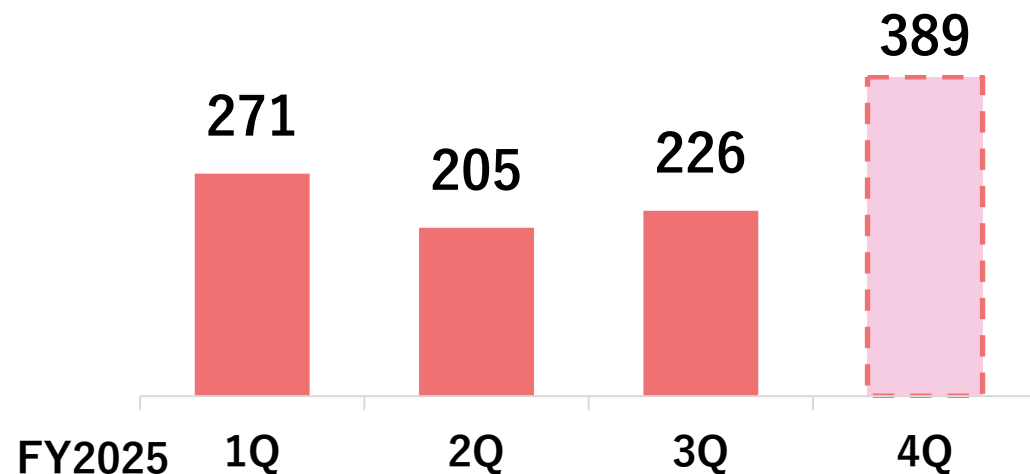
4Q以降

- ・日本国内は節約志向が続き、中国でもデフレや景気の停滞で消費が伸びず、低価格品が中心
- ・環境に配慮したプラントベースフードや海外市場の拡大に力を入れ、環境への貢献と高い収益性の両立を推進

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

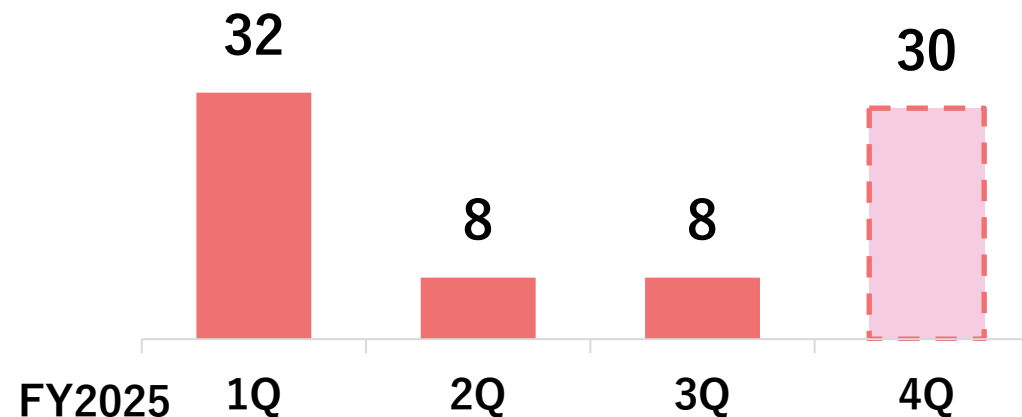
売上高 前期比：+ 93

(単位：億円)



営業利益 前期比：+ 3

(単位：億円)



4 Q以降

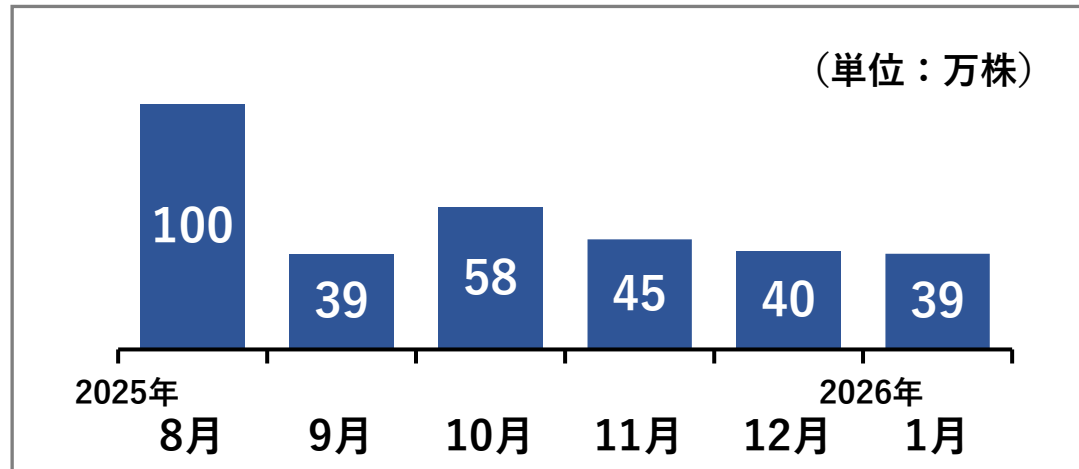
- ・需要期である第4四半期は堅調に推移するが、研究委託費、新剤登録費用等の固定費増加を織り込み済
- ・農薬需要は国内外で拡大基調。新規農薬の創出に注力し研究開発等の先行投資を継続。事業成長と研究開発強化を両立させ、競争力強化。

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

自己株式の取得状況（2025年8月～2026年1月）

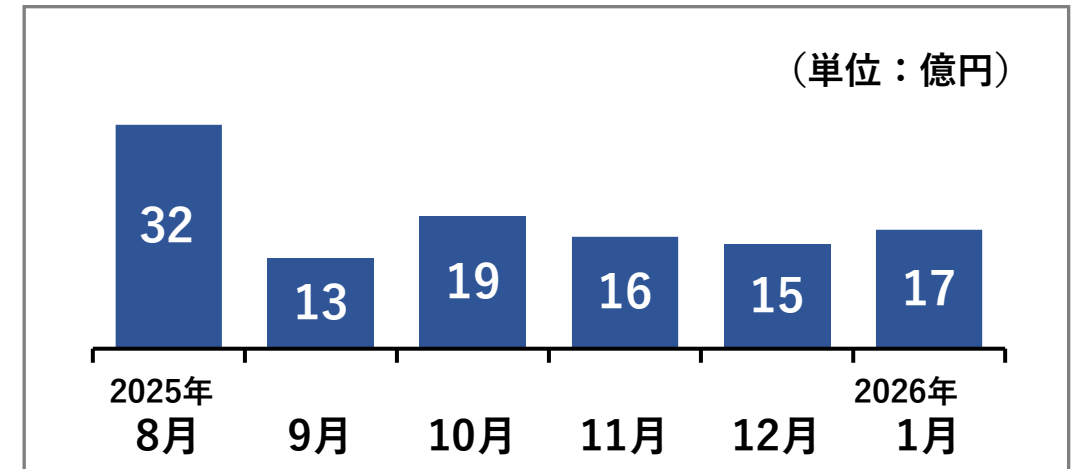
取得した株式の総数

324万株（進捗率 32%）



取得価格の総額

114億円（進捗率 64%）



<ご参考> 2025年8月8日 決議内容

- 取得／消却株式の総数（上限）：1,000万株
- 取得価格の総額（上限）：180億円
- 株式の取得期間：2025年8月12日～2026年5月31日
- 消却：2026年6月上旬（予定）

注1）株式数は1万株未満を切り捨て、金額は億円未満を切り捨てて表示。少数点は小数点第1位を四捨五入。

『A D X 2 0 2 6』

適切な還元を総合的に勘案し、安定配当の維持を基本とする

配当性向 **40%** 以上

中間配当で1株につき **52 円** を実施 （前年同期比 + 4 円 増配）

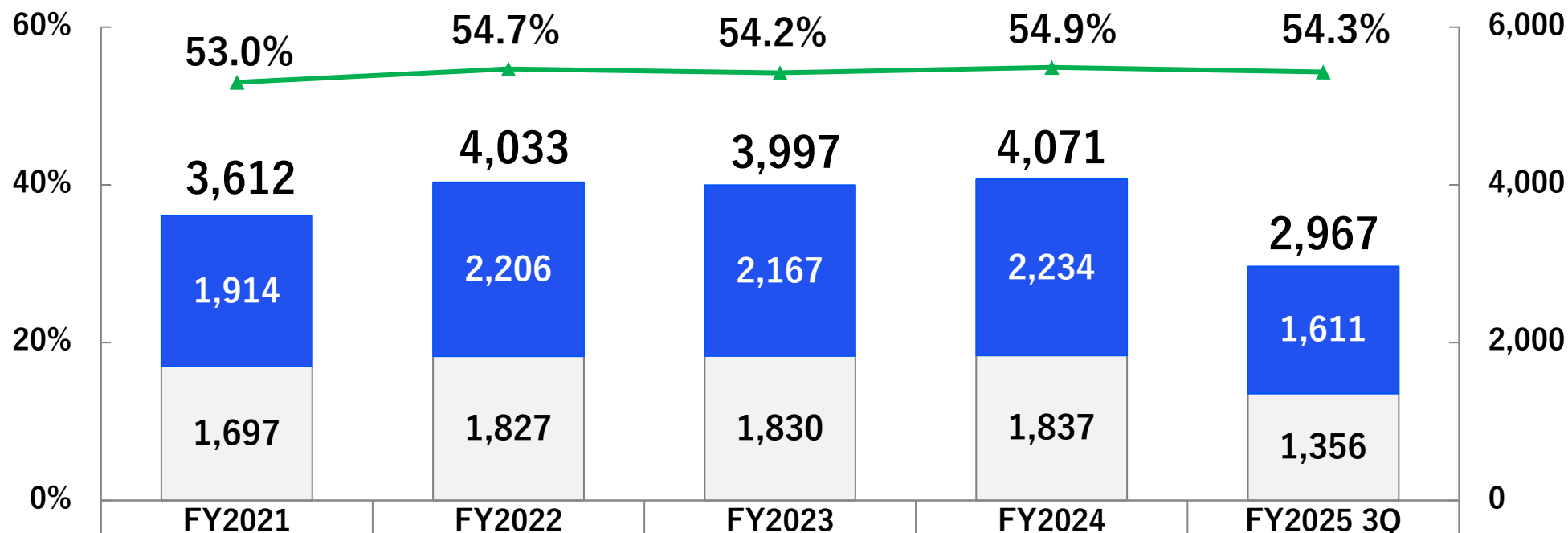
期末配当は1株につき **52 円** を予想 （前年同期比 ± 0 円）

年間配当 **104 円／株**

自己株式取得の結果も考慮し、配当性向40%以上を実現させる

3. ご参考

(単位：億円)



	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025 3Q
海外売上高	1,914	2,206	2,167	2,234	1,611
国内売上高	1,697	1,827	1,830	1,837	1,356
海外売上高比率	53.0%	54.7%	54.2%	54.9%	54.3%
売上高	3,612	4,033	3,997	4,071	2,967

注1) 金額は億円未満を切り捨て、海外売上高比率は小数点第2位を四捨五入して表示

注2) FY2021は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

会計期間ごとの業績推移（セグメント別）

単位：億円	FY23 Q1	Q2	Q3	Q4	FY24 Q1	Q2	Q3	Q4	FY25 Q1	Q2	Q3
売上高	945	930	988	1,132	981	969	1,013	1,107	1,016	941	1,010
化学品	497	517	518	507	564	551	558	509	523	525	540
樹脂添加剤	246	258	249	250	277	260	265	250	251	243	232
半導体材料	78	80	80	82	86	89	89	75	73	84	97
環境材料	173	178	188	174	200	201	203	183	198	197	210
食品	207	206	223	202	209	200	220	194	205	201	220
ライフサイエンス	221	184	226	397	192	198	222	385	271	205	226
その他	18	22	19	25	14	17	11	17	15	9	22
営業利益	74	73	92	113	86	96	117	109	109	87	95
化学品	55	65	60	56	75	74	77	52	63	67	69
樹脂添加剤	17	22	19	19	31	25	27	24	25	24	20
半導体材料	23	24	19	22	21	26	27	15	14	19	21
環境材料	14	17	20	14	22	23	21	13	22	23	27
食品	3	9	15	12	13	8	15	6	11	9	15
ライフサイエンス	11	▲ 4	11	40	▲ 3	9	24	47	32	8	8
その他	3	3	4	4	1	2	1	2	3	1	2

注）金額は億円未満を切捨て。半導体材料および環境材料は、製品区分組み替え後の実績値を記載。

『ADX 2026』 経営目標と2025年度の予想（中計2年目）

		FY2024 実績	FY2025 予想	FY2026 目標
財務指標	営業利益	410億円 (売上高 4,071億円)	415億円 (売上高 4,150億円)	530億円 (売上高 5,000億円)
	R O E	8.6%	8.2%	11.0%
	R O I C	9.1%	—	10.5%
サステナビリティ 指標	環境貢献製品売上高	868億円	—	1,150億円
	G H G 排出量	211千t-CO2e	—	199千t-CO2e
	女性管理職比率	5.8% (単体)	—	6%以上 (単体)
設備投資額		186億円	200億円	750億円 (3カ年)
配当方針（配当性向）		40.7%	40%	40%以上

注）金額は億円未満を切り捨てて表示、比率は小数点第2位を四捨五入して表示

『ADX 2026』設備投資の状況

樹脂添加剤

半導体材料

環境材料

● 先端メモリ向け高誘電材料

順次、設備・能力増強を実行

完工 新規材料の製造棟（2024年10月）



台湾

営業運転開始

● 半導体向けA L D材料
（2024年4月）

韓国

米国

営業運転開始

● 添加剤 原料タンク新設（2025年8月）

日本

完工

● ● 久喜研究所「新研究棟」
（2026年夏 開所予定）

投資決定

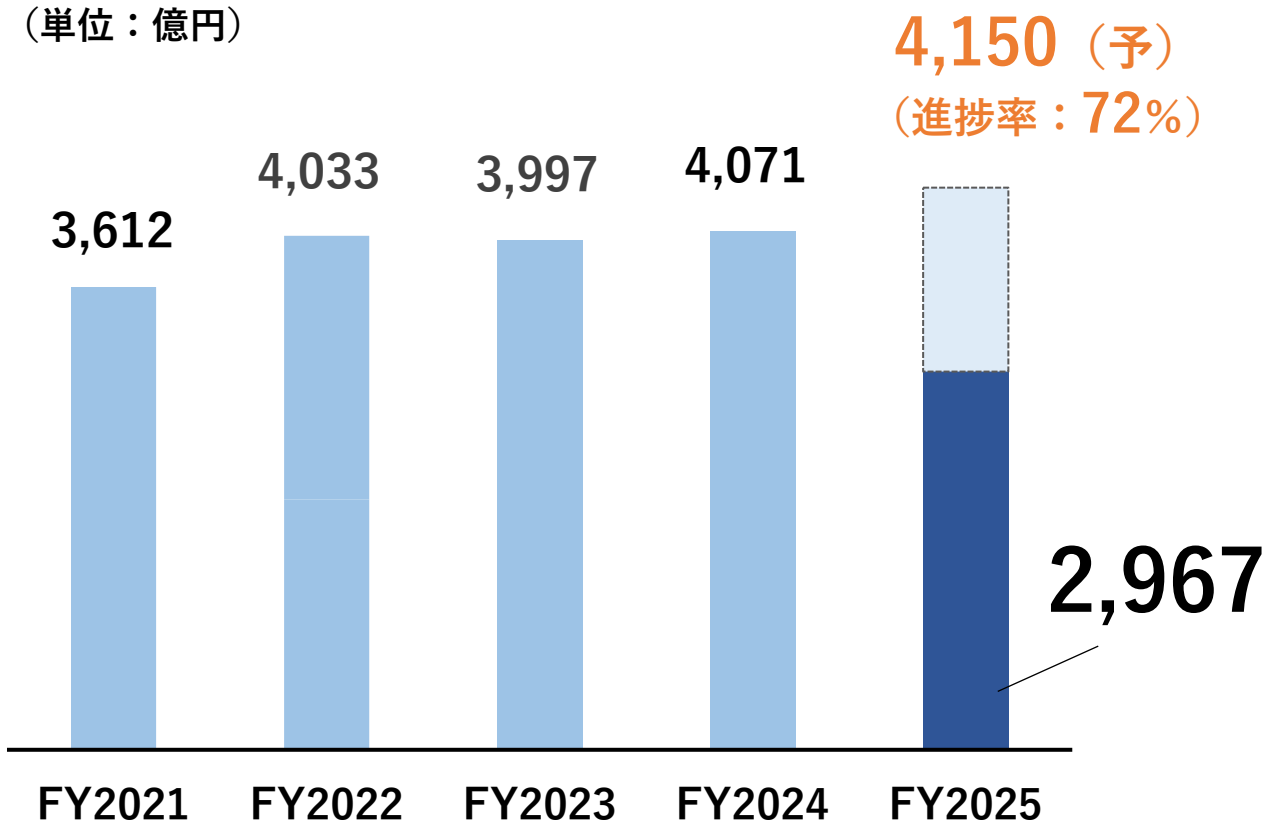
● 鹿島化学品
「次世代EUV露光向けMOR用金属化合物」
（2026年4月 着工予定）

開所／営業運転開始

- 千葉「光酸発生剤 研究分室」
- 富士「半導体向け高純度過酸化水素」
- 三重「車載用電子部品向けエポキシ樹脂接着剤」

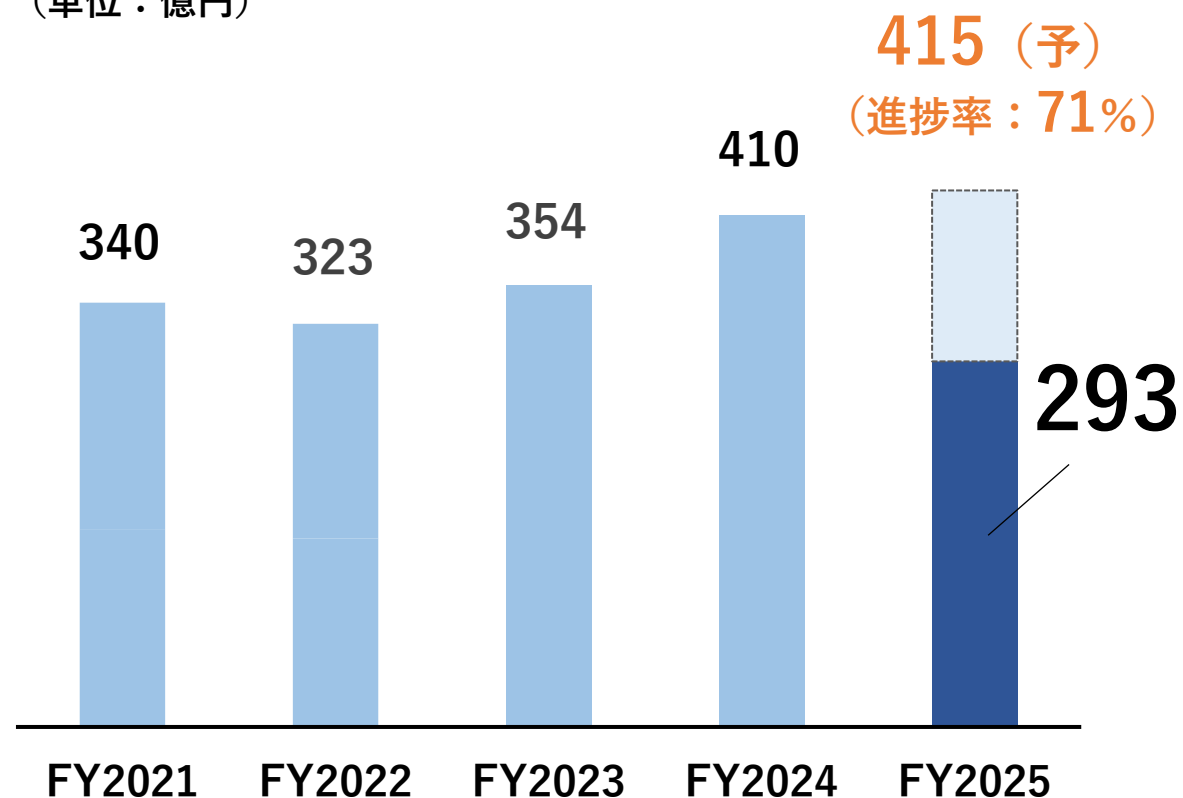
売上高

(単位：億円)



営業利益

(単位：億円)



注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



Add Goodness

A decorative border composed of various geometric shapes in red and blue, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the page.

2025年度 第3四半期 決算説明補足資料

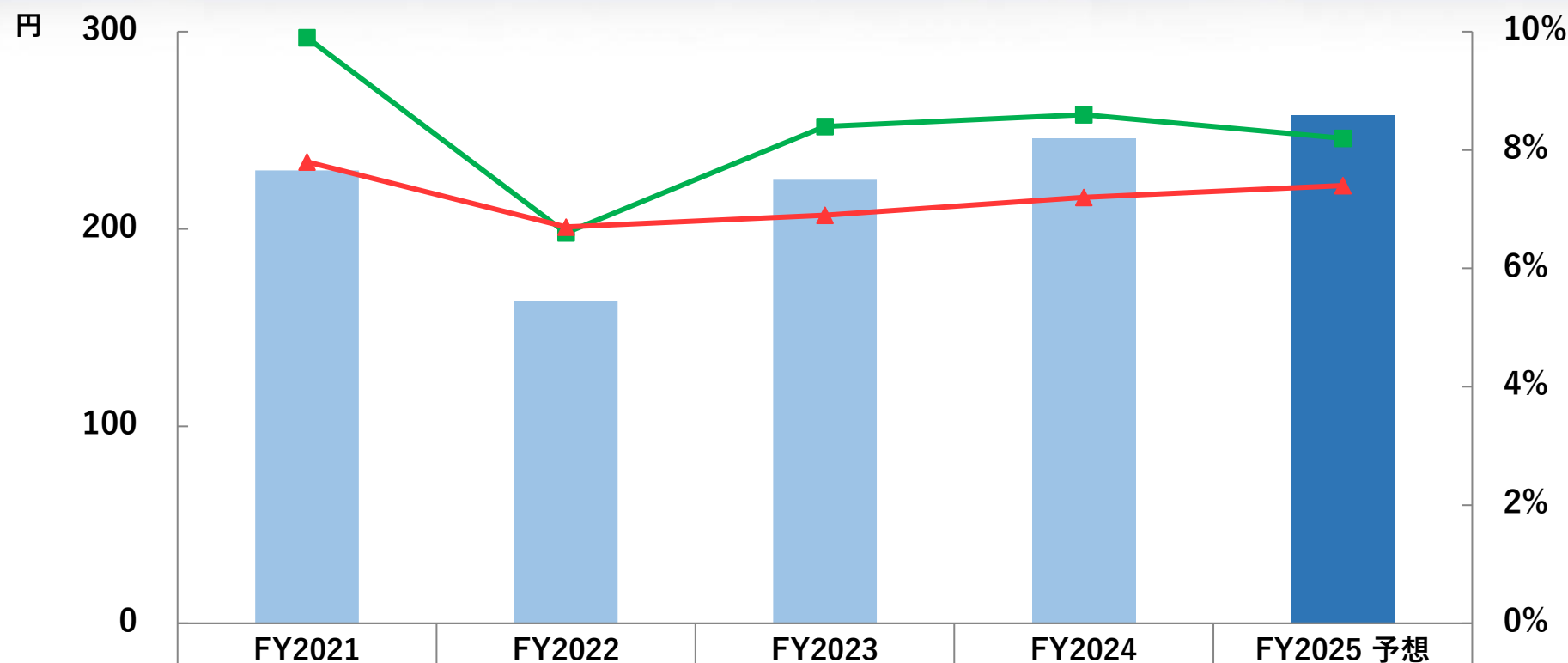
1. 連結決算補足資料
2. 経営指標等
3. ご参考

1 連結貸借対照表

1. 連結決算補足資料

(単位：億円)	25/3末	25/12末	増減		25/3末	25/12末	増減
流動資産	3,498	3,543	44	負債	1,913	1,935	22
現金及び預金	1,101	1,028	△ 72	流動負債	1,222	1,233	10
受取手形及び売掛金等	1,100	985	△ 114	固定負債	690	702	11
棚卸資産	1,133	1,309	176	純資産	3,517	3,648	130
その他	163	219	56	株主資本	2,668	2,665	△ 2
固定資産	1,932	2,040	107	資本金	230	230	-
有形固定資産	1,258	1,300	41	資本剰余金	203	204	1
無形固定資産	146	152	6	利益剰余金	2,281	2,373	91
投資その他の資産	527	586	59	自己株式	△ 46	△ 142	△ 95
				その他の包括利益累計額	298	426	128
				非支配株主持分	550	555	4
資産合計	5,431	5,584	152	負債・純資産合計	5,431	5,584	152

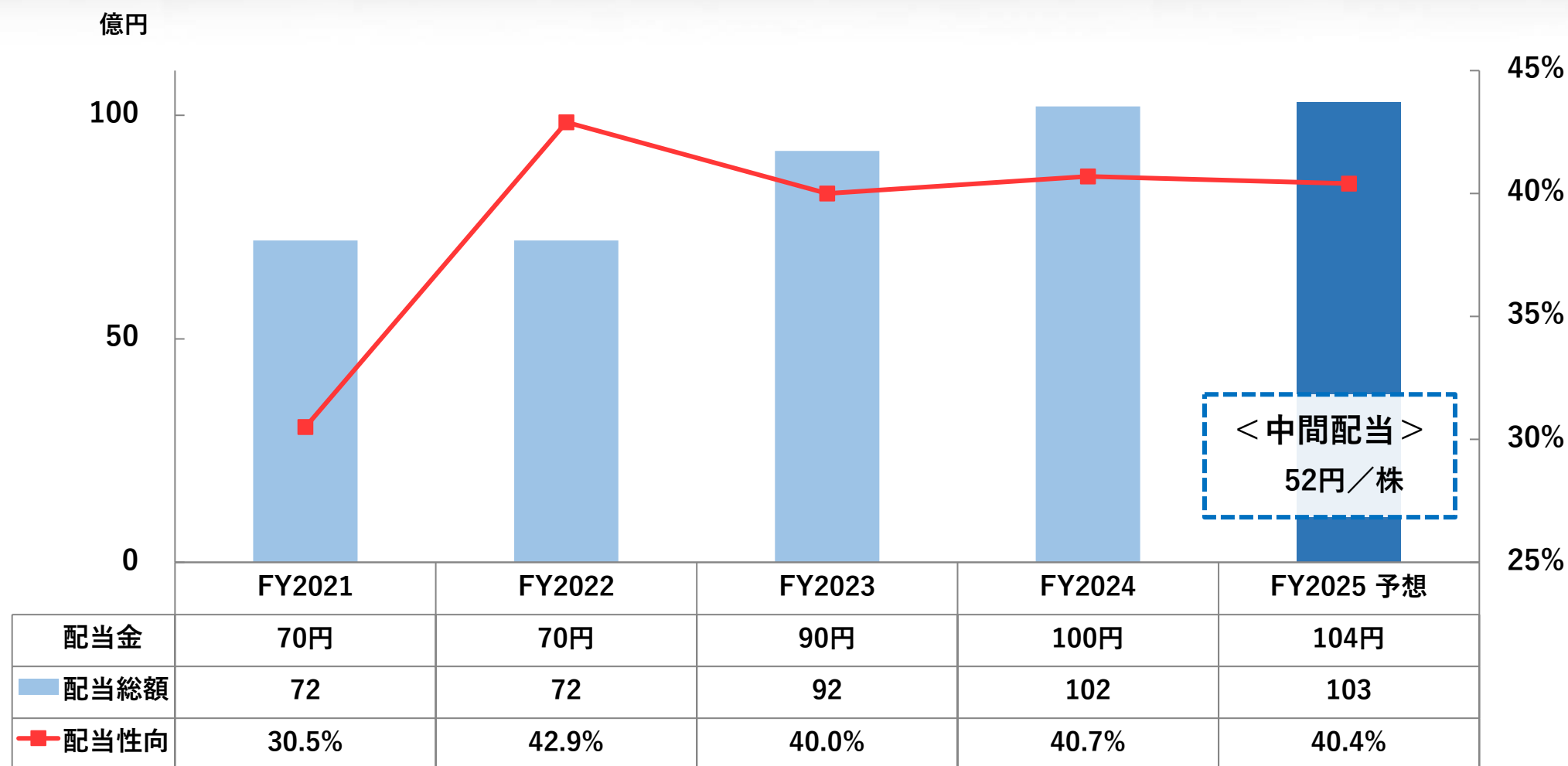
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示



■ EPS (1株当り当期純利益)	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025 予想
	229.7円	163.3円	224.9円	245.6円	257.7円
■ ROE (自己資本当期純利益率)	9.9%	6.6%	8.4%	8.6%	8.2%
▲ ROA (総資産経常利益率)	7.8%	6.7%	6.9%	7.2%	7.4%

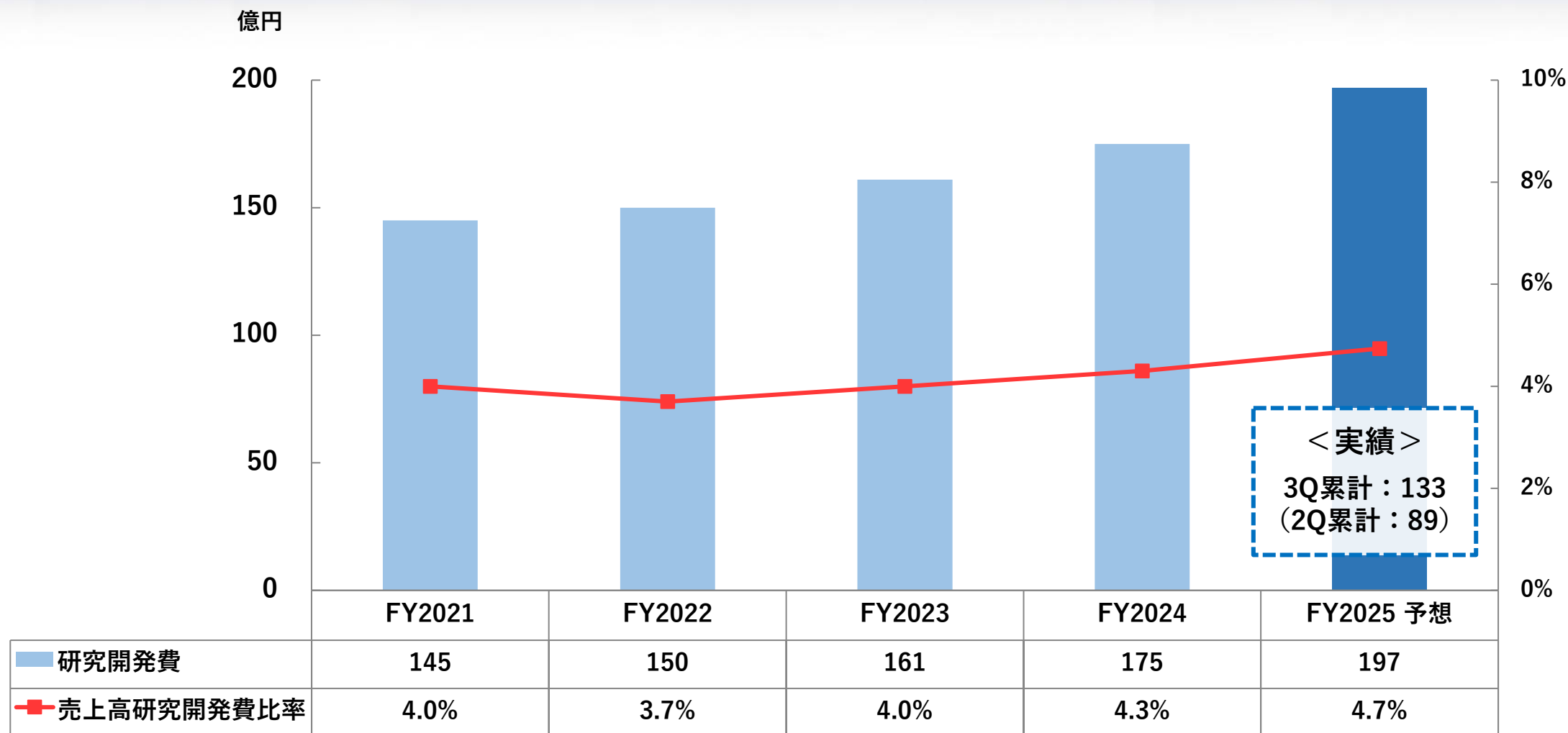
注1) 数値は小数点第2位を四捨五入して表示 注2) FY2021は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載
 注3) FY2025 予想の1株当り当期純利益は、2025年12月末時点の発行済株式数（自己株式を除く）を用いて算出

2-2 配当金、配当性向



注 1) 配当総額は億円未満を切り捨て、配当性向は小数点第2位を四捨五入して表示

注 2) FY2021の配当性向は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



注1) 研究開発費は億円未満を切り捨て、売上高研究開発費率は小数点第2位を四捨五入して表示

注2) FY2021の売上高研究開発費比率は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



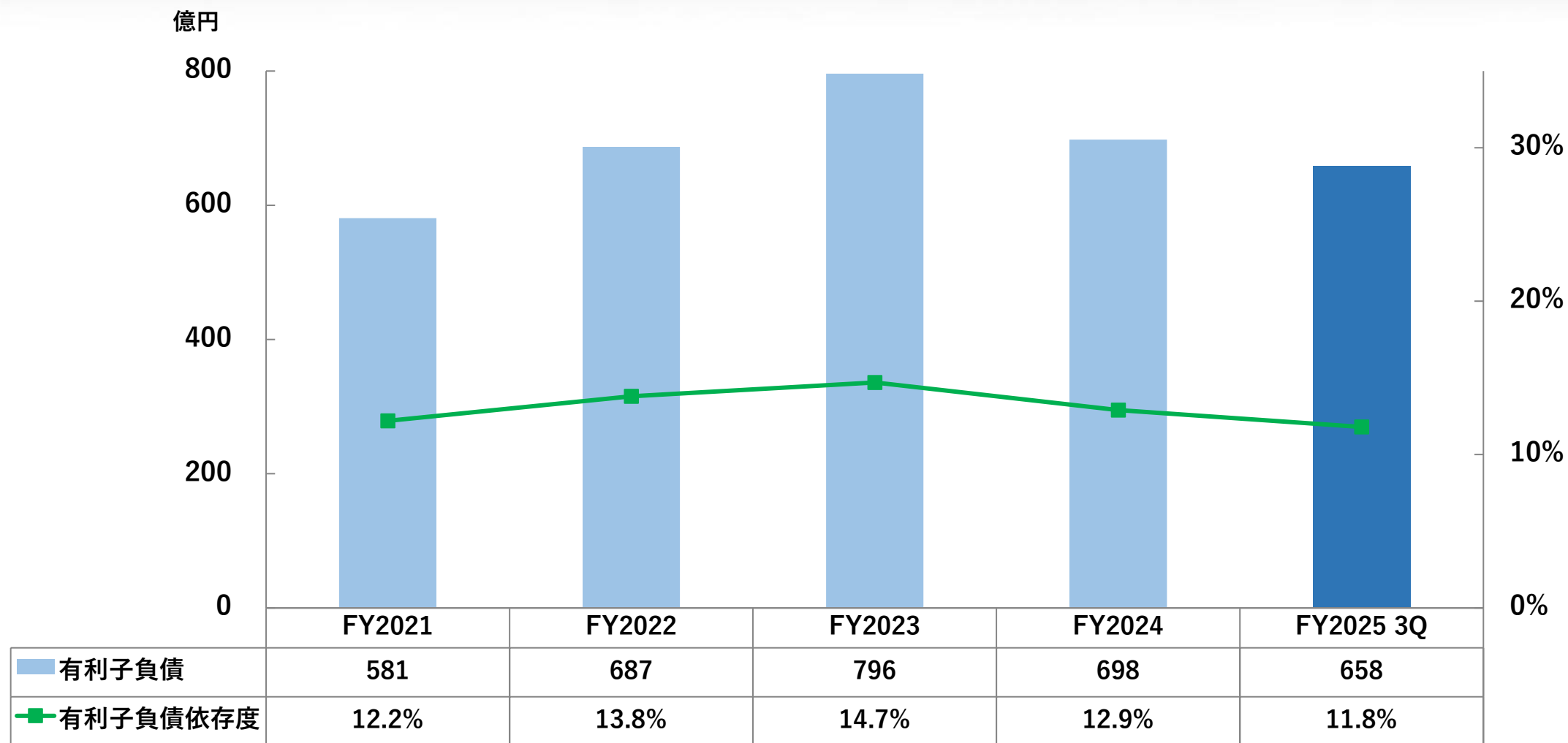
<実績>

● 設備投資
3Q累計：122（2Q累計：92）

● 減価償却費
3Q累計：138（2Q累計：90）

注）設備投資、減価償却費は億円未満を切り捨てて表示

2-5 有利子負債



注) 有利子負債は億円未満を切り捨て、有利子負債依存度は小数点第2位を四捨五入して表示

3-1 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品
報告セグメント	化学品事業	樹脂添加剤 ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、その他
		半導体材料 高純度半導体材料、半導体リソグラフィ材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、その他
		環境材料 エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、電池材料、光硬化樹脂、光開始剤、画像材料、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、プラントベースフード、ホイップクリーム、練り込み用クリーム、フィリング類、マヨネーズ・ドレッシング類、機能性食品素材、その他
	ライフサイエンス事業	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材薬品、医療材料、その他
その他		設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車両等リース、不動産業、保険代理業、その他

3-2 主な用途と製品例

● 樹脂添加剤 ● 半導体材料 ● 環境材料 ● 食品 ● ライフサイエンス

セグメント	マーケット	主な用途と製品例
化学品	自動車	<ul style="list-style-type: none"> ● 内外装：核剤、光安定剤 ● ハーネス：塩ビ用安定剤 ● ゴム部材：可塑剤 ● エンジンオイル：潤滑油添加剤 ● 構造用接着剤：エポキシ樹脂 ● 車載用電子部品：エポキシ樹脂接着剤
	建築・インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ● 壁紙・サッシ、パイプ、電線：塩ビ用安定剤 ● 塗料：反応性乳化剤、水系樹脂 ● 床材：塩ビ用安定剤、エポキシ樹脂
	半導体	<ul style="list-style-type: none"> ● メモリ・ロジックIC：高誘電材料、半導体リソグラフィ材料、エッチング材料、エポキシ樹脂、過酸化製品
	エレクトロニクス	<ul style="list-style-type: none"> ● 光学フィルム：光安定剤、光硬化樹脂、水系樹脂 ● 筐体…難燃剤 ● カラーフィルター：光重合開始剤、BMレジスト ● 基板：エッチング材料、エポキシ樹脂、過酸化製品
食品	量販店・コンビニ	<ul style="list-style-type: none"> ● パン・菓子：マーガリン、ショートニング、フィリング ● 洋菓子：ホイップクリーム ● 土産菓子：マーガリン、クリーム
	観光・外食産業	<ul style="list-style-type: none"> ● ホテル・カフェ・レストラン：プラントベースフード
ライフサイエンス	農業	<ul style="list-style-type: none"> ● 水稻・園芸：殺虫剤、殺菌剤 ● 除草剤

業績予想・事業計画に関する注意事項

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。